

3月定例会のご案内

20周年行事内容についてほか

2月定例会でビズネット20周年記念行事について討議いたしました。3月も具体的に進めていきましょう。

日時 3月29日(水) 午後7:00~午後9:00

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-50-5

ホテルラングウッド5階 03-3807-3211

JR・京成 日暮里駅前より徒歩約5分。

場所 日暮里サニーホール 第1会議室

2月定例会の様子 (2017/2/21)

20周年記念で2月に話し合った内容

- ホテルなどで行う20周年記念式典の形式でなく、旅館等に宿泊し、主に自分たち会員の為に、各会員が考えた行事中心にし、イメージとしてはミニミニ学会的な感じで行う。

- ・各行事は、一泊二日で開催。遂行内容を取り決めタイムスケジュールを組んで行う。
- ・開催中は各自の事情もあるので出入りは容認。ただし、要事前連絡。
宿泊することでゆったりできる効果もある。現実的には宿泊組と非宿泊組を設ける。
- ・行事の最終は懇親会的なもので終える。

●出されている内容

- ①各撮影を意識しての機材設置や撮影方法の話。実際に機材を持ち込んで行う。
- ②そこで疑似的に撮影した素材を使って、EDIUSやプレミア等の編集ソフトで実技編集を行う。
- ③編集済データをオーサリングソフトでDVDやBDを実技制作する。
- ④それらの上映鑑賞会を行う。 ⑤ジャケットデータ制作・盤面データ制作。

●その他

二日間の様子を記録撮影する。

旧会報をデータ化する。(現在、脇田氏が遂行中)

今回は「会員中心」の他に「対外的告知」はどこまで行うか。ちなみに会HPでは随時情報をアップしていく。

(出ている案:旧会員への声掛け・VS誌での告知・機材ショップ・関連メーカーへの声掛け。)



←脇田さんはご夫婦で出席。
奥様はパソコン教室を運営
しておられます。
松本さんは今回購入した
カメラを持参。
そして赤岡さんの手元には
なにやら怪しげな…
(何だかワカリマス?)

長野便り

長谷川 満

久しぶりに長谷川さんから
お便りが届きました。
なお、映像は YouTube の検索で
「光彩の詩」と入れていただければ
見ることができます。(T)

「上高地 DVD の売上事情」

ビズネットの看板をたたき、街のビデオ屋業に加えて頂いたのが 15 年前。4 年前に諸事情あつて松本に戻りましたが、現在も主な顧客は神奈川県の舞踊や学校関連のステージイベントです。開業当初から声を掛け続けて下さるお客様を見るときに、この仕事の有難さ、楽しさを痛感致します。

上高地をベースとしたネイチャービデオの DVD 作りをやっているという事は、昨年 2 月の勉強会でもご報告をさせて頂き、その席では皆さんに貴重なご意見を戴く事が出来、それを踏まえて昨年 5 作目の DVD を出させて頂きました。有難うございました。

DVD の制作よりも販売する事の難しさは、前職を通して痛感しておりましたので、上高地以外の場所や、インターネットでの販路の拡大、宣伝活動にも力を入れて来ました。しかしながら 8 年前の 1 本目の DVD 発売から、昨年までの DVD の売上推移(累計 1,700 本程)をじっくり考察してみると、DVD(BD も同じ)と言う形に仕上げ、お客様に購入して貰い、再生環境のある場所でジックリ見て貰うと言うスタイルは時代に合っていないと強く感じ始めました。ガベージニュース(セルビデオの売上高推移)で検索して戴くと資料も出て参りますので、敢えて掲載致しませんが、国内でのこの傾向は 2008 年から顕著なようです。要因にインターネットを通じた無料コンテンツの配信が大きいのではないかと考えます。代りが手に入るからと言うよりも、セル DVD の購入意欲が減退したのでしょうか。まだまだインターネットの視聴環境が整っていない方は大勢いらっしゃると思いますが、積極的に新しい視聴環境を求めているの方が、DVD 等の購入意欲の高い方達、私の映像を見たいと思って下さるお客様の潜在層ではないかと思います。

今年は新しい DVD の制作活動は止めて、在庫の販売を続けながらも、インターネットを中心にした制作活動(広報活動)に移す事を積極的に行おうと考えており、試行錯誤の 1 歩として、YouTube に短編映像ライブラリーを作ろうと思いスタートしました。無料試聴ですので売上は上がりませんが、まずは提供出来る素材を持たないと、次のステップに進めないだろうと言う考えです。

ライブラリーのタイトルを上高地から連想出来る「河童のつぶやき」にしようかと思ったのですが、私の撮る自然映像を中心に、上高地以外でも積極的に加えて行こうと思いますので、河童は合わないのと、外国人には通用しないでしょうから、「光彩の詩」「Movie Essay Lights & Colors」と言うタイトルで映像ライブラリー化して行こうと思います。You Tube の検索で「光彩の詩」だけでは命中しないので、「上高地」とか「長谷川満」を加えて貰うと2月初め現在4編の映像が登録されています。3分から長くても5分以内の短編に仕上げ、これから内容と数を充実させて行こうと思います。特にこの冬期間に上高地の過去の映像を使ってある程度のラインアップをしようと思進めています。

やってみるとこの位の長さが辛抱できる丁度良さかなと思っています。四季をベースにDVDの構成を考えているとアレも、コレも加えたくなり、支払って戴く対価に見合う内容に仕上げなければ、40分位の長さが丁度好い位に考えていましたが、この長さのDVDを連続して見ているのは結構しんどいし、ましてDVDを接続したTVの前に構えていなければならないとなれば、なおさらです。一度見たものをもう一度見ようと思わない、だから売れない...これが時代に合わないと感じる要因でしょうか？何時でも、何処でも、スマホやタブレットでYouTubeを検索すれば見る事が出来る手軽さは、DVDには無かった楽しさです。もう通信は「放題」の時代に入ってきていますので、時流に合ったやり方を模索して行きたいと思っています。

32歳で歳を数えるのを止めたとは言え、年々衰えも感じる体力。結果が出るのはこれからですが、まだ行動力が残っている内に、DVD等のメディアに記録して提供する方法の限界が見え、切り替えが出来て良かったと思っています。トランプ流に次の段階はつぶやく事かと思っています。TwitterやFacebookを使ってこの映像ライブラリーの存在を広く知って貰うのが良いかと考えますが、とりあえず今年前半はライブラリーの充実と、撮影に出掛けた際に撮り方を変えて、1回ごとに発信出来るような事を考えてみようと思っています。現代ではライブ配信(現場からの中継)も放送局でなくても出来る環境が整っています。「上高地からお馴染みのライブ発信 フォレストのぼやき.....」アイデア次第かな....

私が担当しているイベント・ビデオの仕事は、出演された方に、当日の記録性の高い内容を編集して、映像を提供するという性質ですので、まだまだDVDやBDでの提供が主になるかと思いますが、基本的にはお客様が、見たい時に、見たい方法で、提供できるのが望ましいのではないかと思います。ネットの普及で可能になる今後の変化に注視しながら続けて行きたいと思っています。

一人の知恵では限界があり、文殊の知恵を求めて集っているビデオ仲間がビズネットだと思っていますので、力を合わせる事で可能になる展開と一緒に考え、模索して行きましょう！ご意見、ご感想をお待ちしています。

関連資料 URL <http://www.garbagenews.net/archives/2048340.html>